

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	東京都立板橋看護専門学校
設置者名	東京都知事

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
看護専門	看護(新カリキュラム)	夜・通信	88単位	9単位	
		夜・通信			
看護専門	看護(旧カリキュラム)	夜・通信	80単位	9単位	
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

当校ホームページに掲載 (https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/itabashi/curriculum/kamoku.html)
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	東京都立板橋看護専門学校
設置者名	東京都知事

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	
役割	学校が行った「自己評価」結果、施設確認、教職員との意見交換、改善方策や取組状況を総合的に評価する。

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター センター長	2023.4.1～2024.3.31	基礎・成人・老年看護学、統合実習先
地方独立行政法人東京都立病院機構東京都立豊島病院 院長	2023.4.1～2024.3.31	基礎・成人学・小児・母性看護学、統合実習先
(備考)		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	東京都立板橋看護専門学校
設置者名	東京都知事

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>授業科目の到達目標、教育内容及び授業方法、成績評価方法及び基準、その他の事項を毎年8月に検討し、決定した内容で授業計画を作成し、年度末に公表している。また、臨地実習についても、目的・目標・内容、評価方法を毎年8月に検討し、実習要項を作成して年度末に公表している。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/itabashi/curriculum/katei.html</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>◆東京都立看護専門学校学則第11条(修了の認定)</p> <p>校長は、別表に定める科目を履修し、その試験又はそれに準ずるもの(以下「試験等」という。)に合格した者に対して、当該科目の修了を認定し、所定の単位を与える。</p> <p>2 講義及び演習については、授業時間数の三分の一以上を欠席した者は、当該科目について前項に規定する試験等を受けることができない。ただし、校長が特にやむを得ないと認める理由により欠席したときは、この限りでない。</p> <p>3 臨地実習については、実習時間数の四分の一以上を欠席した者は、当該科目の修了を認定されない。ただし、校長が特にやむを得ないと認める理由により欠席したときは、この限りでない。</p> <p>◆東京都立看護専門学校修了認定等に関する規程準則</p> <p>上記規程に基づき、あらかじめ設定した成績評価の方法・基準により、厳格かつ適正に修了の認定(単位授与)を実施している。</p>	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>◆東京都立看護専門学校修了認定等に関する規程準則</p> <p>第3条 修了認定条項に規定する試験等は、筆記、レポート、口述、実技、その他の方法で実施する。ただし、臨地実習については、実習評価表に基づき評価する。</p> <p>第4条 試験等は、原則として、100点を満点とし、60点を合格とする。</p> <p>2 合格者の成績の評価は、S、A、B、Cの4段階とし、試験等の成績の90点以上をS、80点以上90点未満をA、70点以上80点未満をB、60点以上70点未満をCとする。</p> <p>3 点数評価しない試験は、修了又は未修了とする。</p>	
<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p>https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/itabashi/curriculum/seisekihyouka.html</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>都立看護専門学校で育てたい「感じ取る力」「考え構成する力」「表現(具現化)する力」「成長する力」の4つの力を発展させて看護実践能力を身につけることを重視し、所定の単位を修得した学生に卒業を認定し、専門士を授与する。</p> <p><感じ取る力></p> <p>① 多様な文化・価値観を持ったあるがままの人間を個人として受け止め、尊重できる。</p> <p>② 対象及び対象をとりまく人々との関係の中で、思いや希望、心身の変化に気付くことができる。</p> <p>③ 命を尊び、人の生死に対し真摯に向き合うことができる。</p> <p>④ 対象の尊厳と権利を守るための倫理的な課題に気づくことができる。</p> <p>⑤ 社会の変化や保健医療福祉の動向に関心を持ち、医療や看護へのニーズに気づくことができる。</p> <p><考え構成する力></p> <p>① 対象の反応の意味を多角的に分析・解釈し、看護の必要性を考えられる。</p> <p>② その人らしい生活を支えるために必要な看護援助を、根拠に基づき考え組み立てることができる。</p> <p>③ 実践した看護を振り返り、より良い看護を考えることができる。</p> <p><表現(具現化)する力></p> <p>① 対象を気遣いながら、より良い関係を築いていくことができる。</p> <p>② 対象の思いを受け止め、必要な情報を提供し、自ら意思決定ができるように支援できる。</p> <p>③ 切れ目のない医療の実現に向け、チーム医療の中で看護の視点から情報を発信できる。</p> <p>④ その人らしく生きるために、対象のもてる力を活かしながら、安全で安楽な看護が実践できる。</p> <p><成長する力></p> <p>① より良い看護をしたいという思いを持ち、学び続ける。</p> <p>② 自己の課題に気づき、解決に向けた努力ができる。</p> <p>③ 仲間と共に、学び支え合い、互いに高めていくことができる。</p> <p>④ 様々な状況に柔軟で粘り強く対応できる。</p> <p>⑤ 専門職業人としての誇りと自覚を持つ。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/itabashi/s houkai/policy.html</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	東京都立板橋看護専門学校
設置者名	東京都知事

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	
収支計算書又は損益計算書	
財産目録	
事業報告書	
監事による監査報告（書）	

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		看護専門	看護(単位制)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	新 106 単位 旧 97 単位 単位時間/単位	71 単位 65 単位	7 単位 7 単位	23 単位 23 単位	0 単位 0 単位	5 単位 2 単位
		単位時間/単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
240人		239人	0人	17人	118人	135人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>(概要)</p> <p><1年生> 43 単位(1140 時間) 基礎分野 7 単位(135 時間) 専門基礎分野 13 単位(390 時間) 専門分野 19 単位(495 時間) 臨地実習 4 単位(120 時間)</p> <p><2年生> 37 単位(1065)時間 基礎分野 3 単位(60 時間) 専門基礎分 4 単位(120 時間) 専門分野 24 単位(585 時間) 臨地実習 6 単位(270 時間)</p> <p><3年生> 24 単位(810)時間 基礎分野 4 単位(120 時間) 専門基礎分野 4 単位(60 時間) 統合分野 12 単位(540 時間) 臨地実習 4 単位(90 時間)</p>

<p><3年生> 24 単位(810)時間 (旧カリキュラム) 基礎分野 4 単位(120 時間) 専門基礎分野 4 単位(60 時間) 統合分野 4 単位(90 時間) 臨地実習 12 単位(540 時間)</p>

成績評価の基準・方法
<p>(概要)</p> <p>◆東京都立看護専門学校修了認定等に関する規程準則</p> <p>第3条 修了認定条項に規定する試験等は、筆記、レポート、口述、実技、その他の方法で実施する。ただし、臨地実習については、実習評価表に基づき評価する。</p> <p>第4条 試験等は、原則として、100点を満点とし、60点以上を合格とする。</p> <p>2 合格者の成績の評価は、S、A、B、Cの4段階とし、試験等の成績の90点以上をS、80点以上90点未満をA、70点以上80点未満をB、60点以上70点未満をCとする。</p> <p>3 点数評価しない試験は、修了又は未修了とする。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>(概要)</p> <p>◆東京都立看護専門学校学則(昭和46年3月31日規則第73号)</p> <p>第十三条 校長は、別表に定める全科目の単位を修得した者に対して卒業の認定を行い、卒業証書(別記第四号様式)を授与する。</p> <p>2 前項の規定により卒業の認定を受けた者は、専門士(医療専門課程)と称することができる。</p> <p>◆東京都立看護専門学校修了認定等に関する規程準則に従い、厳正かつ適正に則り、職員会議を開催し、取得単位を認定し、進級を認定している。</p>
学修支援等
<p>(概要)</p> <p>入学前教育、複数担任制、個別指導相談、補講、強化学習指導、低学年からの学習対策、国家試験対策に教員の担当を置き、模擬試験、補講の計画、適宜面接して学生の学習強化を図る。委員会を敵に開催し、学生の学習状況を共有し支援する。過年度生に対しても同様に支援し、きめ細やかに対応している。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
80人 (100%)	1人 (1.3%)	78人 (97.5%)	1人 (1.3%)
(主な就職、業界等) 豊島病院、健康長寿医療センター、駒込病院、大塚病院、墨東病院 等			
(就職指導内容) 看護師としてのキャリアプランについての講義、2年次夏より就職ガイダンスを実施、12月及び2月に就職説明会を本校で開催する。管理職によるエントリーシート作成、論文指導、専任教員による面接指導を実施。			

(主な学修成果(資格・検定等)) 看護師免許取得
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
240 人	4 人	1.7 %
(中途退学の主な理由) 家庭の事情		
(中退防止・中退者支援のための取組) 必要時面接し、学生の意向を確認。カウンセラー配置による相談体制、保護者面談など。		

学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
看護	11,300 円	265,700 円	0 円	入寮者のみ寄宿舎料 15,500 円/月
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				
東京都立看護専門学校授業料等の徴収猶予又は減額若しくは免除に関する取扱要項 納付期限までに納付が困難と認められる者の内、生活保護受給世帯の者と住民税非課税世帯の者は全額免除、住民税非課税世帯に準じる世帯の者は半額免除、その他要綱に基づき、免除や徴収猶予を行う。				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/itabashi/shoukai/hyouka.html		
学校関係者評価の基本方針(実施方法・体制) 都立看護専門学校における学校評価に関する要綱に基づき、学内で行った自己評価結果等を複数の学校関係者が総合的に評価する。 主な項目は、教育課程・教育活動・進路指導・学生支援・管理運営など。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター センター長	2023.4.1～2024.3.31	基礎・成人・老年看護学、統合実習先
公益社団法人東京都保健医療公社豊島病院 院長	2023.4.1～2024.3.31	基礎・成人学・小児・母性看護学、統合実習先
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/itabashi/shoukai/hyouka.html		
第三者による学校評価(任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/itabashi//index.html
--